



3 月定例会より 報告 (27 年第 1 回定例会)

27 年 4 月 26 日発行

新中核病院の行方 ―― 県と意見が一致 ――

すでに新聞報道もあり、ご存知の方も多いと思いますが年明け早々新たな合意があり、県が認める形となりました。県がリーダーシップをとったとも言えるでしょう。

合意内容

- ① 山王病院（岩瀬にある民間病院）と県西総合病院及び筑西市民病院の3病院が統合して、新中核病院を建設する。
- ② 規模は250床（病床数は大幅縮小）
- ③ もとの3病院は基本的には閉院。但し、市民病院跡地には診療所（入院施設の無い医院）を建設。桜川市では、独自で桜川市民病院120床を建設する。
完成予定は平成30年から31年

建設場所

建設場所は、断定はしていませんが、養蚕地区（筑西幹線道路沿い）が有力です。ここにも県の意向が優先されています。

今後の進展は

医療の専門家による協議会を立ち上げ、診療科や医師、看護師等の人数、それらスタッフ確保の方法など、より具体的な事項を協議していくとのこと。3月下旬に第1回目の協議会が開かれる予定。

去年3月合意から約1年遅れています。今後の協議会の進行に注目が集まります。

不測の事態



これまで、協議会は専門家のみで構成されるはずでしたが、議会答弁では、両市長、議会代表が加わりました。また、その協議範囲が広がり、桜川市民病院の基本構想が含まれています。さらに、基本計画については別組織で作成する内容です。これでは協議会の目的がはっきりしない、政治的思惑が入る可能性がある、基本計画作成の組織が見えないという不安があります。

27 年度予算成立

一般会計 393 億円 (前年比 9 億円減)

歳入の主なもの

- 市 税 138 億円 (ほぼ前年並み)
- 地方交付税 73 億円 (前年比 2 億円減)
- 地方消費税 15 億円 (前年比 2 億円増)
- 国庫支出金 49 億円 (ほぼ前年並み)
- 市 債 43 億円 (前年比 9 億円減)
- そ の 他

27 年度予算には含まれないが、26 年度補正予算として今定例会で成立し、執行が新年度となる事業があります。

26 年度補正額 約 8 億円

国の目玉補正予算から地方創生臨時交付金として約 2 億円市へ交付。2 つの型の事業を推進している

- ・地方創生先行型事業 人口ビジョン・総合戦略策定
住宅取得応援事業
不妊治療費助成事業
就労支援・新規就農支援事業

- ・消費喚起型事業 プレミアム商品券発行事業
- 一見消極予算に見えますが、年度末の補正はほぼ繰り越され、合計 400 億円超となり昨年並みとなります。
- 特別会計 290 億円 (前年比 26 億円増)
 - 水道事業会計 25 億円 (ほぼ前年並み)
 - 市民病院会計 19 億円 (ほぼ前年並み)



全ての事業会計予算は
約 735 億円
前年度比 17 億円増
増加率 2.4%

